

心とからだの健康

学校保健専門誌

12
2021 Dec.

子どもの生きる力を育む

特集 思春期教育（性教育）／子どもの自殺について

- 地域の産婦人科医として取り組む思春期教育（性教育）
- 学校の先生方に知ってほしい自殺予防対策の重要性



特集

思春期教育（性教育） ／子どもの自殺について

地域の産婦人科医として取り組む 思春期教育（性教育）

20~29

松岡産婦人科クリニック
松隈孝則（編集部取材）

学校の先生方に知ってほしい 自殺予防対策の重要性

30~36

横浜市立大学 精神医学教室
宮崎秀仁（編集部取材）

地域の産婦人科医として取り組む
思春期教育（性教育）

性教育では、性に関する知識だけでなく、「人とどう関わるか」「どう生きるか」の視点も重要です。福岡県で長年、性教育の講演をされている産婦人科医の先生にお話を伺いました。

松原産婦人科クリニック

松原孝則

(編集部取材)



はじめに

編集部 思春期教育（性教育）を始められたきっかけを教えてください。

松原先生 はい。私は昭和50年に久留米大学を卒業し、その後10年間の研修を経て、人口約5万人の福岡県小郡市で産婦人科医院を開業しました。大学医局時代には、性教育に携わることは皆無でしたが、思春期教育において当時における全国的に高名な先生のご講演に間近で接する機会に、とても新鮮な刺激を受けたことが記憶にありました。また開院当初より、保護者からの相談や若年齢層の疾病・妊娠・中絶などの現状に接し、思春期教育の重要性を実感していました。

開業してちょうど2年目に、福岡県は全国に先駆けて、県立高校に、「性と心の相談医制度」を設けました。そして私は県立小郡高校の担当を指示され、高校2年生の子どもたちへの性教育を行ったのがスタートです。

折しも、福岡県エイズ教育推進地域として小郡市が2002～2004年の3年間指定を受けました。当時、市長以下、教育委員会もエイズ教育はまだ耳新しいことで、全くの手探り状態で実行委員会を立ち上げ、私は産婦人科医師として委員会に参加することになり、毎月

委員会を開催し検討を重ねました。

当時、エイズは「死の病」とされており、「多量多彩な薬の服用が必須」であるなど、現在の知見では考えられないような時期でした。しかも、日本では感染者数がまだ少なく、感染経路も風俗などの特殊な状況下が大勢を占めるなど、一般の市民には身近な話題として捉えにくい疾患でした。しかし、いまこそ教育関係者が、まずエイズについての知識を得ることから始めよう、ということになりました。小中高校の各々で、どのような内容でスタートするかにおいて、参考書の選択などから開始した記憶があります。

この委員会には、行政はもちろん、小郡市内の小中高校の代表1校ずつが指名され、指名を受けた学校の、校長以下、教頭教諭、そして養護教諭が参加する総勢約30人の構成です。3年間の検討を終え、2004年11月に実践報告として、指定校の三国中学校において、保護者・生徒に、60分の講話を私が行いました。

その後、講演を傍聴した複数の中学校から講演依頼があり、現在では地域の6つの中学校全ての3年生と、近隣高校の1年生に、年1回講話を続けています。

思春期教育（性教育）の実際

Q1 先生が行われている思春期教育（性教育）について教えてください。

A1 当たり前のことですが、子どもたち一人ひとりの心身発達には差があります。また、各家庭で思春期教育（性教育）についての考え方に差があり、学校によっても生徒への対応などに差があります。もちろん、講師によって講演の内容にも差があります。

しかし、思春期教育の基本は、家庭でもできることであり、自分の子どもに対して、「あなたは我が家の宝物」だと日頃より言い続けることを、忘れてはいけません。

私は、思春期教育（性教育）は、セックスや妊娠・出産、避妊などについてだけ指導するものではなく、「性」を通して、他人との関わり方や相手の立場を考えることが基本であり、力強い生き方を含めた包括的な指導であるべきだ、と思っています。

一つしかない大切ないのちを、どう生きるか。自分を大切に、他の人をもっと大切にしよう、私は、子どもたちに話す際、「一度きりの人生は、あなたのもの」、そして「転ばない人生はない」と伝えています。

Q2 思春期教育を受ける子どもたちは、昔と何か変化した点がありますか？

A2 そうですね。まず、男女とも体格や思春期などは昔とほぼ同じです。しかし、大きく変化した点として、スマホなどの情報端末の所有率があります。これにより、子どもたちの友人関係の把握が簡単にはできなくなってきたように思います。たとえ保護者であ

っても「自分の子どもは、現在、誰と友だちなのか」、「誰とけんかをしているのか」、「誰とつながっているのか」がわからなくなってきているのです。

子どもたちは親世代よりも詳しい情報を、簡単に手にすることができます。子どもに「自分で正しい判断ができる」力をつけることが、保護者はもちろん、教職員の先生方の願いなのではないでしょうか。

Q3 情報が得やすくなった分、自分で正しい判断をする必要があるということですね。

A3 はい。正しい判断に基づく行動や言動にも責任を伴う、ということをし、しっかりと理解させることが大切なのです。

誰にでも、手をつなぎたい、ハグをしたいといった「接触欲」があります。ある調査で中学生に「高校生になったらセックスしてもかまわないか」と質問したところ、中学3年生男子は60%、女子は60%、かまわないと答えていました。

高校生になると、急に性交経験率が上昇するというデータもあります。クラブ活動や対外試合など、いろいろな経験をするなかで、友人も増え、交際範囲が広がり、開放感、大人感を感じたり、「友人が経験者だから自分も」と思ったりすることもあります。

小さい赤ちゃんとのふれあい体験も大切だと思います。性交するということは、1年後かも、5年後かも10年後かも、もっと後かもしれないけれど、赤ちゃんができる可能性があるのだということを、知ってもらえる貴重な体験の機会と思っています。私の講演では、妊娠中のエコー写真や、胎児心音の動画を見せたり、さらに生まれたばかりの新生児

の動画を見せることにより、「いのち」を実感させています。

男子と女子で性に関する考え方に違いがあるということも、子どもたち自身に伝える必要があります。講演後の子どもたちの感想文にも、「この違いに驚いた、初めて知った」という声が多くあります。しかし、「知らなかった」では済まされません。望まない結果を伴うことがある、ということを必ず付け加えます。

体の変化では、女子は12～13歳ごろに初経を迎えます。男子の精通の年齢は、早い人では10歳ごろから、大体11～12歳ごろから始まるということがわかっています。

性交には、男女どちらの立場でも責任を伴います。一般論としては、高校卒業までは、社会的にも責任をとることはできません。判断力の醸成の意味でも、小学生の交際の仕方、中学生の交際の仕方、高校生の交際の仕方、社会人の交際の仕方を考えさせ、保護者に向かって、「あなたは何歳だったら自分の子どもの性交を容認しますか？性交の相手にも親がいるのです！」と問いかけます。

思春期は、自分の性に違和感を持つ年齢でもあります。LGBTQについては、性の多様性を認め合う時代であること、それをいじめ

の対象ととらえないこと、違和感を率直に相談できる場所があること、なども講話に含めています。

もう1つ大切なこととして、学校で教える性教育の内容を家庭と共有することが大切です。そして、学校の授業を踏まえて家庭内でも話題にしたり、事件や報道などをきっかけに話題にしたりしていただけるよう、働きかけることが大切です。

同時に、家庭では、各家庭での決まり（門限・外泊禁止など）についても、しっかりと話し合うこと、納得させることが大切です。子どもの性に対する考え方には、「親の言葉」「親の行動」「性に対する態度」などが大きな影響因子として存在するのです。ここで家庭での敷居を低く設定してしまうと、子どもたちは性を容認されたと思い、安易な行動をとることがあります。つまり、敷居を高く、性に慎重な態度を示すことで、子どもはよく考えて行動する傾向があるのです。

中学3年生への講話から

総括語 実際の講話では、どのようにお話しをされていますでしょうか。

副読本 時間は約60分間です。中学3年生への講話は、男女一緒に行います。高校1年生への講話は、男女別に行っています。というのは、高校生になると、年代を越えての交際が起こることが予想され、それに伴い、性感染症も明らかに増加します。男子・女子それぞれの疾患の解説が必要であり、そのなかで、症例の写真をあえて提示することもあるという理由から、男女別に行っています。

講話中の様子



一度きりの人生、いのちを大切に生きるとは、からだを大切にすること、こころを大切にすることです。

以下、実際に中学3年生に話している内容の一部を紹介します。

交通事故、事件、大雨、震災など、連日いろいろな報道がありますが、その日、たまたま、偶然の出来事で、突然いのちがなくなることがあります。いのちには限りがありますが、何歳まで、あと何年と、期限は誰にもわかりません。明日の今頃、自分がどうしているかさえ、誰にもわからないのです。私自身でさえ、来年この教室でみなさんの1年後輩の方々へ思春期講話を行っているという確証はありません。

もう一つ、たとえば、通学路にごみが落ちているのを見たことがありませんか。すでにごみが落ちている道だったら捨てていいのでしょうか。畑だったら捨てていいのでしょうか。それがもし、あなたのおじいさんの畑だったらどうでしょうか。丹精込めて耕した畑に捨てられたごみを拾っている農家の人は、どのような気持ちでしょうか、考えたことがありますか。

「自分がされたらイヤなことを、ほかの人にすまな！」という言葉がありますが、これはごみのポイ捨てだけでなく、誰かと交際する際にも深く関わっています。

同時に、「何か他の人の役に立つことはできないか」という考え方も大切です。困っている人に「お困りですか」と声をかけるなど、中学生にもできることがたくさんあります。たとえば、助けを求める誰かのそばにいただけでもいいのです。

誰かのこころを大切にすることは、いのち

を大切にすることでもあります。

では、今日のお話の「行動と責任」についてです。「Hするってどういうことだと思いますか？」

心の充実感が得られるかもしれない、しかし妊娠することもあるし、性感染症のリスクがあるかもしれません。

交際を進める中では、嫌な言葉ですが、デートDVやレイプ、痴漢、性虐待、望まない妊娠、性感染症といった問題も、いつ自分の身の回りに起こるかもしれません。

たとえばデートDVでは、束縛の暴力として「いまどこにいるんだ?」、「異性のアドレス全部消せ」、「頻繁にメールしろ」、「本当だったら、写メを送って証明しろ」、「昨日は自宅にいたはずなのに、どうしてすぐに返信しなかったのか?」などを受ける可能性があります。性的暴力として、「無理やりキスをする」、「恋人ならHするのが当たり前だ」、「いままで大丈夫だったから、避妊しないぞ」、「下着姿を写メで送れ」などが起こる可能性もあります。

もちろん、たとえ恋人であっても性的な画像を送ることは超危険です。もしその方と別れたとして、その後もずっと写真は相手の手元があり、相手次第でどうにでもなってしまうからです。

一人ひとり、性に対しての考え方が違います。しかし、行動には責任が伴います。その結果は、最終的に自分で取らなければなりません。「もしも…」と、相手を思いやる行動がとれるかどうか、あなたの判断力にかかっているのです。

新聞などでは、10代で出産し、生まれてすぐ子どもを殺害してしまうという事件もあ

ります。もちろん殺人で犯罪です。

最初の問いかけ「Hするってどういうこと？」に対しては、心が充実したり、愛が育まれたり、子どもが生まれることがあったりと、素晴らしい結果が得られることであると同時に、「人間として社会的に責任が取れること」が最低条件でもあるものなのです。

そうすると「先生、コンドームさえあれば大丈夫でしょ」という人もいますが、コンドームの避妊失敗率は18%もあるというデータがあります。

しかし、コンドームさえあればいいのでしょうか。相手のことを考えてみてください。

すべて自分の責任です。もし、今、自分やパートナーが妊娠したら、あなたは親になる自信がありますか？

人には誰も悩みがあります。心の悩み、勉強の悩み、友だち関係、家族関係の悩みや、顔や外見のこと、体のこと、性器のことなど、悩みがたくさんあります。

そして、転ばない人生はありません。たとえどんなに転ばないように注意していても、転ぶときもあります。

だからこそ、転んだ後、どう立ち上がるかが大切です。立ち上がって、転んだことを自分の貴重な経験にできれば、転んだことも無駄ではありません。

子どもたちからの質問に回答

Q1000 毎年1回、地域の中学3年生に思春期教育（性教育）を行っていらっしゃるということは、地域の中3以上の子どもたちはみんな松隈先生のお顔を知っていて、一度はお話を聞いたこと

があるということですね。

Q1001 はい、そうですね。講話の後、感想を自由に書いてもらうのですが、「感想文は私も読み、来年の諸君の1年後輩の方への私の講話の参考資料として活用します。無記名でも結構です。質問があり私からの返事が欲しい方は、出席番号とお名前をきちんと記載してください。後日、その方へは封印した返事をお届けいたします」と説明して、個別の質問を受け付けています。日頃相談できなかった性に関する悩みなども、「生の声」として受け取り、私の返事を学校にお渡しして「私の生の声」を伝えるようにしています。

以下、感想と質問の一部をご紹介します。

Q：月経周期が26日なのですが、大丈夫でしょうか？また、生理痛も重いように思います。

A：月経周期は、26日型も、28日型も、35～40日型の方もいますよ。今後、少しずつ変わってくる人が多いので、ご質問者の年齢では全く気にしないでいいです。2週間くらい続いたりすることもあります。生理痛に関しては、いろいろな対応がありますので、できれば保護者の方と一緒に、産婦人科を受診してみてください。

Q：生理痛を緩和する薬として、ロキソニンなどを飲んでいますが、あまり効果がありません。ほかには何か方法はありますか？

A：鎮痛剤で効果がない場合には、漢方薬などで効果が見られることもあります。また、他の要因があるかもしれません。産婦人科に相談に行ってみてください。またLEP剤（低用量の女性ホルモン剤）の使用についても、保護者の方と一緒に病院に行き、十

分説明を受けてみてはいかがでしょうか。
その際は、おなかの上からのエコー検査は必要かもしれません。

Q：おりものが多いときがありますが、大丈夫でしょうか？

A：透明に近いようなおりものなら心配いりませんが、黄色や白色で、かゆみを伴ったりするときには、病院で検査をすることも必要でしょう。産婦人科を受診してみてください。

Q：性感染症を予防する方法は？

A：まず、性感染症にかかっているかもしれないような人と性行為をしないことです。相手の人に性交経験があれば、そのときの相手やさらにそれ以前の相手など、誰が感染しているかわからないので、絶対にコンドームは必要です。ただし、コンドームを使用しても防ぐことができない病気もあるので、性行為による感染の危険は常に考えておかなければなりません。その後の不妊の原因となることがあります。

Q：性感染症に感染してしまったときは、どうしたらいいですか？

A：気になることがあれば、なるべく早く産婦人科、または泌尿器科を受診してください。

Q：1人で、親に気づかれないように受診することは可能ですか？

A：どうぞ、料金は無料でも相談にのりますよ。保険証もなくてもいいです。もちろん親に通知などしません。

Q：好きな感情を持つ方と、手をつなぎたい、

という気持ちは普通に起こっていいのでしょうか？

A：いいと思います。ただ、手をつなぐ、とうことは、相手の感情も大切に考えてあげる必要があります。会話をしたり、一緒に手をつないで歩くだけでも、あなたの気持ちが落ち着くこともあるのでは。

Q：お互い了承があればセックスしてもいいですか？

A：お互い了承しているからといっても、その、「了承」は、単なる性交そのものなのか、もし妊娠したら、性病にかかったら、そのようなことも含めての「了承」なのか、考えてみてください。数年後にそのような状況が発生するかもしれません、しっかり自分で判断して行動すべきです。そして、行動には必ず責任が伴うことを忘れないでください。

Q：コンドームをつけていても18%の確率で避妊に失敗してしまうのはなぜですか？

A：男性で、実際にコンドームを装着したことがある人はわかると思いますが、コンドームを装着するタイミングは意外に難しいものです。また使用後に外すタイミングも同じです。欧米諸国では、コンドームに頼って避妊している人は、日本人に比べてかなり少ないのが現状です。コンドームだけの避妊は、危険であることを知ってください。

Q：いつ性交をしたら妊娠しやすいなどがありますか？

A：排卵日の前後2日間は、もっとも妊娠しやすい時期です。

Q：将来の赤ちゃんのために悪影響を及ぼすことを教えてください。

A：たばこやシンナー、覚せい剤、お酒、性病などがあります。心配なことがあるのであれば、産婦人科を受診してみてください。

Q：自分は今後喫煙しないと誓いますが、現在喫煙している家族を、禁煙させる方法がありますか？

A：喫煙者は長い間続けているので、本人の禁煙は本人の自覚と努力に頼るしかありません。ところが、「節煙」というか、たばこの本数を減らすことはできるかもしれません。一つの方法は、「私はたばこの煙が大嫌いだから、私の前でだけは喫煙しないでね」と、家族それぞれが大きく宣言し約束させることです。結果的に、本数を減らせることができるのではないのでしょうか。
「あなたは私の大好きな〇〇。たばこによる悪影響で〇〇が病気になるってしまって私を悲しませないで！」と、一言添えて。

Q：出産は激しい痛みを伴う、と聞きますが、大丈夫なのですか？

A：急におなかが大きくなるわけではなく、約10カ月かかって出産の準備をするわけです。心も体もゆっくり準備をしますので、多くの皆さんが、赤ちゃんのいのちのために頑張れるのです。痛みを乗り越える工夫をすれば、安心して出産を迎えますよ。当院では、初めての出産直後に、「赤ちゃん、かわいい！もうひとり産みたいです！」と言ったママもいらっしゃいます。

Q：性犯罪を受けたときには、どのように対応

したらいいですか。

A：まず、親や先生に、急いで報告することです。自分が嫌だと思ったことは、どんな小さなことでも、犯罪になることがあります。

Q：悩みや疑問が尽きません。誰に相談したらいいかわかりません。

A：いろいろな悩みがあったり、疑問を感じたりすることは、人生を一步ずつ前へ歩んでいることの証です。自分だけで、またインターネットやSNSの中だけで、結果を求めようとせず、先生や親御さん、そして私のような医療関係者へ、ご相談ください。

保護者に向けて

保護者 低容量ピルについてもお話をされていらっしゃるんですね。

保護者 はい。子どもたちの中にも、月経困難症や月経不順、PMSで悩んでいる生徒はかなり存在します。対応としてLEP剤（低用量ピル）を説明し、月経を移動コントロールすることが可能であることなどを含め、副効用や副作用、料金などについても説明しています。避妊用のピルを服用する方法や費用、また緊急避妊ピルの服用内容や費用に関しても、具体的に話しています。

この話は、中学生、高校生の男女に行っており、その際は、まず女性には月経というとても大切な期間が毎月存在することから話しています。実際、男子の感想文に「そのようなたいへんなことがあるとは気づかなかった」という声がありました。

月経に関するさまざまな悩みは、決して恥

ずかしいことでも、隠すことでもありません。講演後には、養護先生に気軽に相談できるようにになった子もいるようです。

読者Q 最近ニュースになっている「子宮頸がんワクチン」についても教えてください。

医師A 私の所属する日本産科婦人科学会は、積極的勧奨に復帰することは当然だと考えますし、公費負担枠を高校3年生まで拡充することを提案しています。副反応のことは事前に教育しておくことが必要なことは言うまでもありません。

・講話でも、子宮頸がんワクチンの意義、効果、副作用について、公費負担での接種の可能な期間などを説明しています。ご家族が傍

聴されていることも多いので、後日、詳しく聞きたいと来院される方もいらっしゃいます。

読者Q 保護者の方にもお話をされることはありますか？

医師A はい。保護者だけの会合に^{招待}を受けることもあります(夕刻19時からの会合設定がほとんどです)。その際は、「なぜ、いま、どのような思春期教育が必要か？」というテーマで15分ほど説明し、その後私が子どもたちに行っている講話の実際の内容を紹介しています。子どもたちの感想文をそのまま(無記名で)提示することで、子どもたちの「生の声」を実感していただいています。

子どもたちからの手書きの感想文と、保護者からいただいた感想の一部をご紹介します。

子どもからの感想文

今の時期の私たちの心の悩みや体の変化について知る事ができるのを助けて下さる。特に命の重さを感じる事ができました。生き残る事が出来たのは、命はかけがえのない大切なもの(という事を知りました)。私は最近 噂話などが重なりすぎて自分の命を捨てるかもしれない。毎日が苦しくて死ななうを助けて下さる。私はどんなに命を捨てようと思っても死ななう。私は大切にしたい命を助けて下さる。誰かがつらい命を助けて下さる。大切にしたい命を助けて下さる。良い経験ができて助けて下さる。

今日は僕たちのために講座を聞いてくれてありがとうございました。話を聞きながら思ったことは、今でも、そしてこれから先でも役に立つような話ばかりで、本当に勉強になりました。一番印象に残ったのはどんな性格の人でも受け入れるという事です。僕は今まで同性が愛し合うことなんて、おかしい…自分とは違う…と思っていても、話を聞いて、世界にはいろんな人がいる、みんなたまたま違うだけだからって考えようになりました。これから、今、生き残ることに感謝し、がんばっていきたいです。

昨日が、悩んでることに気づいて、涙を流したことがあった。自分だけじゃないという思いが、僕に響いた。人と悩んでる人にもあるんだ。同じ時に悩む人に出会った。僕は、男で、人に話しても、聞く人も、男で話しかけられた。男と男、女と女、男と女、女と男、お互いを認め合える。僕も話せるようになった。僕は、男で、人に話しても、聞く人も、男で話しかけられた。男と男、女と女、男と女、女と男、お互いを認め合える。僕も話せるようになった。僕は、男で、人に話しても、聞く人も、男で話しかけられた。男と男、女と女、男と女、女と男、お互いを認め合える。僕も話せるようになった。

保護者からの感想文

- ・息子がいますが、性教育のやり方がわかりませんでした。今日のお話の中で「自分(子ども)の作品を大事にされていると、子ども自身も自分がこの家のなかで大切にされていると思える」とありましたように、できることをしてあげたいと思いました。
- ・思春期の子どもたちにイライラの日々でしたが、何でイライラするのかの気付きになりました。子どもの気持ちを考えて、無条件で愛を伝えたいと思います。自分の気持ちもずいぶん軽くなりました。

養護教諭へ向けて

【質問】 先生と養護教諭の関わりについて、教えてください。

【回答】 先ほどご紹介した感想文や個別の質問でのやりとりには、養護教諭にも関わっていただいています。そうすることで、何かあったときに質問ができる、顔の見える関係づくりにもつながっています。

養護教諭も「産婦人科の先生と相談できるルートがいつでもつながっているの、どんなことでも質問に来ていいよ。」と話がしやすくなっているようです。また、親に知られたくないような事象に関しては、養護教諭のみの同伴での来院も受け付けています。受診費用のことなどは心配ご無用、費用は発生しないことも伝えます。

講話の後、子どもたちの養護教諭に対する態度が変わったというコメントをいただくこともあります。担任の先生ほど怖くないからか、以前は「結婚している？」「養護の先生もHしてるの？」と聞かれたりすることがあったのが、講話の後はそういった冷やかしはなくなり、真剣に話を聞いてもらえるようになったと教えていただきました。

地域活動ネットワーク

【質問】 「おごおり思春期教育懇話会」について教えてください。

【回答】 前述しましたように、2004年11月にエイズ教育推進実行委員会が約30人、地域の行政、学校長、教諭、養護教諭などで構成され、

検討を重ねた成果を発表したわけですが、その後「せっかく3年間毎月会合してきたのだから、このネットワークを継続しようではありませんか」と私が発案して、この会を立ち上げました。

それから17年間、不登校、非行少年少女サポート、ネット使用方法、LGBTQ、思春期の精神疾患など、年ごとに参加者の先生方が聞きたいテーマに変えて、講師をお招きし、毎回70余人の参加で研修会を開催しています。

この会の特徴として、学校関係者（小学校、中学校、高校の校長、教頭、教職員、養護教諭）はもちろん、行政（市長や町長、教育長、教務部長、教務課長、また県議会議員、市議会議員）、新聞社、医者、臨床心理士など、多岐にわたるメンバーが参加していることがあります。

参加した養護教諭からは、「校種の違う養護教諭が連絡を取りあえるようになった」、「校長、教頭、行政のメンバー、講師とも話をするのができた」と好評をいただいています。

こうした取り組みは、小さな地域だからこそ、できることかもしれません。でも、こうした小さな取り組みをいろいろな地域で増やしていただければと願っています。

コロナ禍で、20～21年は中止していますが、終息したら復活したいです。

おわりに

【回答】 これは講話の最後に話すことなのですが、たとえば、きれいな河原にごみが1つ

捨てられたとして、気づいた人がすぐに拾えば、きれいな河原に戻ります。しかし、そのまま放置していると、ずっとごみがある河原のままです。さらに、そのうち、もしかしたらごみは増えてしまうかもしれません。

これがごみでなく、誰かが倒れている、泣いている、あるいは、いじめられている現場だとすれば、どうでしょうか。「自分で対応しなさい」と言っているのではなく、他人の助けを呼んででもいいから、迅速に対処できる人になってほしいと思っています。

同時に、自分の意思をしっかりと持ち、NOと言う勇気を持つこと、その場の雰囲気にならず、責任ある言動をとることも大切です。

明日が当たり前に来るとは限らないのです。子どもたちには、自分がイヤなことを他人にしないこと、自分の行動に責任を持つということはどういうことなのかを自分自身で考え、一度きりの人生を、転んでも立ち上がれる人になってほしい、と願っています。

お話を伺った先生

松隈産婦人科クリニック 院長
日本思春期学会 会員
九州思春期研究会 理事
松隈孝則先生

〒838-0141 福岡県小都市小郡1504-8
TEL: 0942-73-3511
FAX: 0942-73-3522

先生のご活動について記載のあるブログURL
<http://www.matsukuma.jp/information/education/>

大人になっていく私たちの体・・・ 思春期の性の悩みQ&A

(社)日本家族計画協会クリニック所長 北村邦夫著

たかが「性の相談」と片付けてはいけません。

相談を受ける側は、子どもたちに対して常に一人の人格ある人間として認めるとともに、人間的な温かい気持ちで接してほしいものです。(本文より抜粋)

A5判 138ページ / 定価(本体1,500円+税)
ISBN 978-4-7797-0215-0

生と性の“いのちの教育”のために

